

心の悩み工トセトラ

第47話



精神科医
瀬戸 睿

コロナと自死

『自らの死を私は諸君の前で讚えよう私が望むゆえに私を訪れる自由な死を』と述べ自死を肯定的にとらえる人もいる。ニーチェのように自己讃美ながら死ぬ人は稀である。

殆どの人は、多かれ少なかれ苦しみを抱えている。それから逃れるために死を選ぶ。2020年の自死者は20、919人、2019年より750人増、男性は減少し1、3943人(135

生13人 中学生120人 高校生307人)で女子高生は50人も増えている。原因は女性では健康問題が4、100人(390人増)であり圧倒的に女性の健康問題の増加が大きい。なぜ、女性と小中高生がこんなに増加したのか、それはコロナの影響が大きいと考えるべきである。コロナの蔓延によって、パートやアルバイト中心の女性雇用が大幅に減ったこと、非正規雇用が多く、雇い止め失業、介護や育児で孤立化が、もろに女性や

若者にぶちあたつたからだと考えてよいだろう。どうしようもない状況で自死に向かうことは当然のことである。

一方で株価は上がり続け、企業の内部留保金も上がり続けて今や475兆円にも上っている。大企業が金をため込む、労働者階級にはお金がまわらず四苦八苦、格差の益々の拡大、資本主義社会の当然の帰結です。資本主義を打ち破り、労働者の復権を目指す社会を築かなければなりません。コロナで見えた資本主義社会の矛盾を打ち破る社会の構築が、今私たちに求められています。

それがコロナ等で弱者に強いられた自死を防ぐ最高の方策です。



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎ 048-965-1151